

kirari yokkaichijin Vol.111

# きらり四日市人

四日市朝市協同組合  
理事長 伊藤一樹さん



市内最古参の市場である三滝川慈善橋市場※は、地域の暮らしに根付き、市民に愛されています。大正11年に開設されて、本年で100周年を迎えた同市場で、4月から理事長に就任した伊藤さんにお話を伺いました。

※場所：八幡町16

開催日時：2・7・5・0のつく日  
7：30～11：00ごろ

## 市場に育てられて

三滝川慈善橋市場には、父の代から参加しています。当時は中学生でしたが、家族総出で出店していたので、市場とは40年以上の付き合いです。



お客さんやほかのお店の人など、大勢の人と関わりながら成長してきたので、市場に育ててもらったような気持ちです。

## 理事長に就任して

4月から理事長に選任されたので、2年の任期をしっかりと務めたいと思います。100年続いている市場なので、まずはきちんと存続させたいという使命感が大きいです。

多くの店舗が高齢化と後継ぎ問題を抱えており、今の代でお店を閉める予定という声も聞いています。お店が減ると人が来なくなり、人が減るとお店が無くなる悪循環になってしまうため、今だけではなく5年・10年先を見ながら対策を考えていきたいです。

## 気軽に参加できる市場に

四日市の市場は上手く出来ていると思うのが、曜日ではなく日にちで各地の市場が開催されているところです。毎日どこかの市場がやっているという状況が、ただのイベントではなくお客さんの日常として根付いたのだと思います。

これまで通りお客さんが気軽に買い物ができるように、また、新しい出店者が気軽に参加できるような仕組みを作っていけたらと考えています。例えば、土・日曜日にはキッチンカーを呼び、買い物目的でなくても遊びに立ち寄れる。そして、来てくれた人が市場に興味を持ち、平日にも買い物に来てもらえるような好循環を作っていきたいです。

ぜひ、お店の人と会話をしながら買い物を楽しめる四日市の市場を体験してみてください。

6月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)